

限界を超える

盛夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

莫大な手間と費用をかけた東京オリンピックが開催されません。世界中のアスリートが東京に集結される中、無観客という残念な形での開催には言葉がありません。どうすればよかったのか、政府はきちんと検証が必要だと思います。



代表取締役社長 吉田治伸

さて、今回は先日聴いた為末大さんのお話です。氏は、400mハードルの日本記録保持者で20年破られていません。30分ほどいろいろな話をお伺いしましたが、印象に残ったのは表題の言葉です。例えば、100mの日本記録はながらく10秒がきれませんでした。ところが数年前、桐生選手が9秒台を出して以来たくさんの選手が9秒台をだし、今では何人もの記録保持者がいます。この理由は、氏いわく、「できると思ったからできた」です。それまでは、「日本人には無理だ」という固定概念が記録を出すことをはばんでいたというのです。同感であります。

いろいろな人がいろいろなことで「できない」と言いますが、たいていの事は自分で限界を決めているだけで、多くの事はできることが多いのであります。ノミの法則というものがあり、1mほど飛ぶことのできるノミを30cmビンに入れふたをすると何回かふたにあたるとノミは30cmしか飛ぶことができなくなるそうです。ですから永遠にそのノミはビンからでることができないのです。そのノミを元の1m飛ぶことができるようにするのは簡単で、1m飛ぶノミを入れるだけで良いそうです。

世の中には、ビンのふたのような言動をとる人はたくさんいます。コニックスはふたではなく、1m飛ぶことのできるようなノミのような存在でありたいと思っています。

この夏オリンピックで日本選手を応援しながら自分自身の「限界を超える」に挑戦しませんか？

暑さは続きますが、お体、お気をつけください。